

■□本市出身「星の降る里あしべつ応援大使」高橋慶彦さんと、 □■ようへいさんが田植え体験



高橋慶彦さん

ようへい（本名・堀川陽平）さんが、田植えの体験を行いました。高橋さんは5月24日に、ようへいさんは6月1日に、福住町の水田で田植えを行いました。

株式会社RICE（常磐町）の協力により、令和5年度のふるさと納税の返礼品として提供する予定の「ななつぼし」と「ゆめぴりか」の田植えを、実際に田植え機

に乗り体験しました。

高橋さんをデザインした「慶彦米」と、稲穂とご飯を持つようへいさんを描いた「ようへい米」のパッケージデザインが施されています。なお、芦別RICEの芦別産「ゆめぴりか」と「ななつぼし」は、2022年に開催された「第11回米-1グランプリinらんこし」で銅賞を受賞しており、市では「芦別米の知名度アップにつなげたい」と話しています。



ようへいさん

■□市内10か所で「まちづくり懇談会」を開催

市は令和5年度まちづくり懇談会を、5月15日から6月12日まで市内10か所で開催し、延べ153人が参加しました。

31日に総合福祉センターで行われた懇談会には32人の市民が参加＝写真＝。市側から総合庁舎建設の構想

や芦別浄水場の更新計画、一般国道452号の進捗状況などの説明や情報提供が行われました。

荻原市長との意見交換では、参加者から庁舎建設に対する財源の問題や「市民参加と協働」に関する取組みの工夫など意見が寄せられました。



■□市、教育委員会と星槎道都大学との包括連携協定を締結



市と教育委員会、星槎道都大学は、包括連携協定を締結しました。

この協定は、地域の活性化、人材育成、学校教育・社会教育支援など、市民や学生らの交流事業等を通じ相互の連携強化を目的としています。

調印式は、6月2日に市民会館で

行われ、荻原市長、福島教育長、飯浜浩幸学長が協定書に署名。

続いて飯浜学長は「芦別市×星槎道都大学～協働で拓く未来」と題し講演、「ソーシャルワーカー養成や各分野で共生社会のモデルになるよう、力を発揮したい」と述べました。

■□10周年を記念し「野のななののか」上映会を開催

6月3日に、市民会館で「野のななののか」の記念上映会と出演者によるトークショーが行われました。

このイベントは、映画のクランクイン10周年と「星の降る里芦別映画学校」の開校30周年を記念して企画されました。

上映会には約400人が来場し、映画が上映された後には朝日新聞社の石飛徳樹さんが講演を行いました。

トークショーでは、出演者の品川徹さん、寺島咲さんらが登壇し、古里や家族について話し、エピソードも交えながら会話を繰り広げました。

